



お祝いに届けられた花に彩られたエントランス



ギャラリー風に設らえてある廊下



2階の事務フロア



2階のミーティングゾーン



3階の会議室



グループ会社三京のオフィス



金子 幸生社長



日建建設 株式会社

<http://www.nikken-co.jp>

〒810-0044 福岡市中央区六本松3丁目16番33号

TEL 092-731-2434 FAX 092-731-0259

新本社完成！次の10年見据え飛躍する日建建設 人と建築物の未来を拓く、「創造力企業」を目指して。

地場総合建設業・日建建設（福岡市、金子幸生社長）の新本社が、このほど完成した。自社施工で、地上11階建て。2階が主として日建建設およびグループ会社・三京のオフィス（商談ブース含む）、3階が会議室3（11階が賃貸住宅（48戸））となっており、1階にはテナント2店舗が入居する。

1950年設立の同社が、本社ビル建て替えを決めたのは今から6年半前。2015年に設立65周年を迎えたのを機に、本社屋の建て替えを決めたという。

金子社長によると「本社ビルの建て替えに関しては、05年の福岡西方沖地震直後からある程度構想はあったのだが、当時はまだ築30年程度で建物がしっかりしていたこともあって、具体化までには至らなかった。しかし、15年に65周年を迎え、次の10年、20年に向けて飛躍していくためには、70周年を迎えるころに新たな本社でスタートしたいとの思いがあった」という。

ビルの設計は、旧本社ビル（向陽ビル）に新築時からテナントとして入居していた太陽設計。施工は自社。「他社への発注も

検討したが、結果的には自社施工を選択したことで協力業者の皆様にも喜んでもらうことができた」という。

日建建設は、創業以来、福岡都市圏の数多くの建設事業に関わってきた。近年では、「生活空間からの街づくり」をテーマに掲げ、公営住宅や教育施設などの公共建築物から、マンションや戸建住宅、医療・福祉施設、商業施設などさまざまな建設事業に参画、事業フィールドを拡げてきた。それに伴って受注量も安定、業績は堅調に推移している。

また、00年にはグループ会社の三京を通じて、戸建て部門にも進出した。

好調な業績と相まって、地元

建設業界における同社のプレステージも高まっており、金子社長は先ごろ福岡市建設業協会会長に就任した。

今後について、金子社長は「業界環境はこれから厳しくなることが予想されるが、当社としては民間、公共部門の受注バランスを取りながら、これまで培ってきた信頼を糧に着実に業容を拡大させるとともに、業界としても安全・安心の街づくりや環境保全など地域社会からの要請に応えていきたい」と将来を展望している。

日建建設はこれからも、人・地域社会・自然環境の豊かな未来を開く、地域に根づいた総合建設事業・不動産開発事業を展開していく。

